

本事例についてのお問い合わせは

筑波大学附属久里浜特別支援学校

養護教諭 工藤志歩

までお願いいたします

団体名 (個人名)	筑波大学附属久里浜特別支援学校 養護教諭 工藤志歩
団体(個人) 所在地	〒239-0841 神奈川県横須賀市野比5丁目1番2号
TEL番号	046-848-3441
FAX番号	046-848-3740
メールアドレス	kudou@kurihama.tsukuba.ac.jp
記載者の職・氏名	養護教諭 工藤志歩

実践のあらまし

本校は、知的障害を伴った自閉症の子どもたちだけを対象とした学校であり、言語によるコミュニケーションができるのは、全幼児児童のうち1割程度です。そうした子どもたちにとって、定期健康診断というのは、見たことのない場所や人、器具といった不安要素がたくさんあるため、パニックを起こしやすく、受診が難しい子どもも多いです。そこで、子どもたちが少しでも不安や恐怖を感じずに健康診断を受けられるように、また、最終目標として、病院受診がスムーズにできることを目指し、以下のような様々な工夫を行っています。

実践の内容

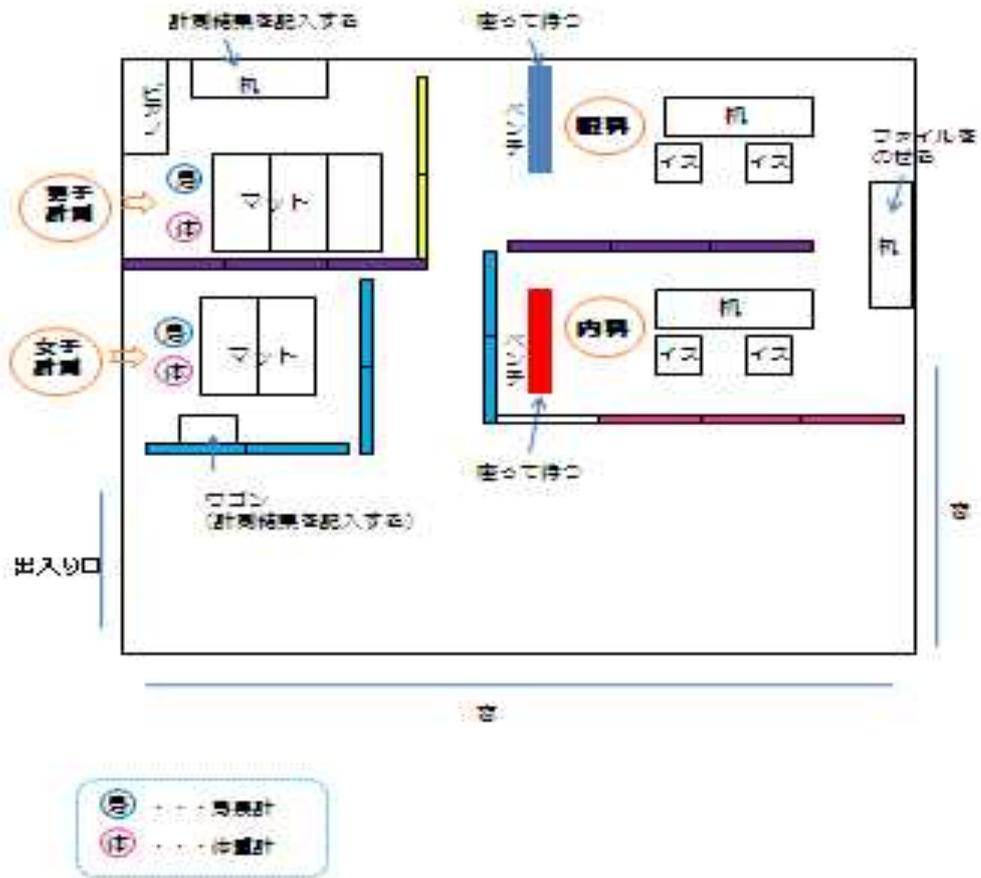
◇ 事前練習

検診の数週間前から、各教室で実際の検診器具を使用して事前練習をします。実際の器具に触れてもらうなど遊びを通して、器具の感触や受診時の雰囲気慣れてもらうようにします。



- ◇ 会場設定
パーティションで区切るなど、検診会場を「構造化」し、子どもたちが行動しやすい環境づくりをしています。

1学期健康診断の会場設置



- ◇ 絵カードの活用
絵カードで、検診の手順を示すことによって、子供たちが見通しをもてるようにします



◇ 受診の仕方

心電図検査などの不安や恐怖を感じやすい検査は、各教室の先生たちと協力して、子供が少しでもリラックスできる雰囲気のもとで行っています。



◇ 写真と文字で記録

耳鼻科検診、歯科検診、眼科検診など各検診ごとに、一人一人写真を撮って、受診時の様子を目で見て分かるように保存しておきます。また、写真とともに詳しく文字でも記録し、それらを一覧にします。



◇ 学校医との協力

検診に対して強い抵抗感を持つ幼児児童を事前に伝えて、その子どもに対しては、声かけを多くするなど十分なコミュニケーションをとった上で診察してもらいます。

まとめ

知的障害を伴った自閉症の子どもたちが、自分から体の不調を訴えることはなかなか難しいことです。そのため、学校における保健管理の中核である健康診断は、子どもの心身の健康管理をする上でとても重要な学校行事となります。この健康診断をきっかけに、検診や受診というものに少しでも慣れてくれることを願いつつ取り組んでいます。

始めは、受診ができない子どもでも、学年が上がって回数を重ねるごとに、上手に受診できるようになっているので、日々の積み重ねが子どもの成長につながるのだと感じています。

今後も、教室担任や学校医との連携協力、また、事前学習や視覚支援ツールの活用など一人一人のニーズに寄り添った定期健康診断を実践していき、「病院受診がスムーズにできる」という最終目標に向かって、一層の工夫をしていきたいと考えています。